

平成29年度 第3回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 平成30年2月19日（月） 9時30分～11時15分
- 2 開催場所 人材かがやきセンター5階 研修室
- 3 出席委員 15名  
丸山委員長，竹内副委員長，長谷川委員，日渡委員，金田委員，今井委員，石井委員，  
池田文男委員，半田委員，坂本委員，稲葉委員，小林委員，生田委員，樽井委員，  
西田委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
  - ・報告事項
    - (1) 平成30年宇都宮市成人式について（実施状況報告）
    - (2) 平成29年度人材かがやきセンター主催講座の実施状況について
    - (3) 宇都宮市民大学(後期講座)の実施状況について
    - (4) 第3次宇都宮市地域教育推進計画（案）について
  - ・協議事項
    - (1) 平成30年度生涯学習センター事業計画（案）について

7 発言の要旨

丸山委員長	まず、議事（1）の「平成30年宇都宮市成人式について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】
丸山委員長	ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問などございましたら、お願いします。  よろしいでしょうか。特にないようですので、この件につきましては以上となります。  つづきまして、報告事項②「平成29年度人材かがやきセンター主催講座の実施状況について」と報告事項③「宇都宮市民大学（後期講座）の実施状況について」は、関連性がありますので、事務局よりまとめて説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】

丸山委員長	それではただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問などございましたら、お願いいたします。
今井委員	資料３の６番の講座の募集定員に対する受講者数ですが、非常に低いということがありますが、何か傾向により集まりやすい、集まりにくいなどがあれば教えてください。
丸山委員長	事務局いかがでしょうか。
事務局	<p>市民大学の講座につきましては、例年、歴史に関する講座は人気が高い傾向にあります。そのため、２番の講座につきましては、１７０名という大変多くの受講申込みがあったところですが、館外学習がメニューに入っており、館外学習の受け入れ先に制限等がある関係から、どうしても募集定員を５０名に絞らざるを得ない状況がございました。</p> <p>また、１番の日光の講座は、館外学習で日光方面に行きましたが、こちらは受け入れ先で５０名以上可能な状況がございましたので、２番の講座より若干多く申込みを受け付けるなど、募集定員を基本は５０名程度としておりますが、歴史関係の講座は人気が高いので、もっと多くの対応ができる講座はより多くの募集を受け付けているところでございます。</p> <p>また、募集の人数が若干少ない講座につきましては、次年度以降の課題ということで、新たなテーマ等に取り組んでいきたいと考えております。</p>
今井委員	歴史ですとか、館外学習のある講座が人気なのですね。ありがとうございました。
丸山委員長	<p>他には何かございますか。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは、他に無いようですので、この件につきましては以上といたします。</p> <p>次に、報告事項④「第３次宇都宮市地域教育推進計画（案）について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	【資料について説明】
丸山委員長	ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたら、お願いします。
生田委員	上戸祭小学校の生田でございます。２点ご質問させていただきたいのですが、今の説明にはなかったのですが、資料別紙の裏面、施策５の２６「魅力ある学校づくり地域協議会活動の充実」につきまして、活動の充実はその通りなのですが、下の概要に書いてありますコーディネーターの育成や魅力ある学校づくり地域協議会の

	<p>組織強化に取り組むという意味を教えてくださいと、２点目が３０「学校を場とした地域の交流促進」とありますが、これはどういうイメージで、今後どのように進めていくのか教えてください。</p>
事務局	<p>まず、施策５の２６「魅力ある学校づくり地域協議会活動の充実」についてご説明させていただきます。コーディネーターの育成につきましては、各小中学校の魅力ある学校づくり地域協議会の中で、コーディネーターの複数配置や後継者の育成などに向けた必要な支援など、地域協議会と協力して現在も取り組んでいるところでございますが、来年度以降も引き続き取り組んでいきたいと思っております。また、魅力ある学校づくり地域協議会の組織強化につきましては、国でコミュニティスクールを推進している中、本市において当面はコミュニティスクールを導入しないと整理したところでございますが、来年度以降、必要に応じて国のコミュニティスクールにも速やかに対応できるよう、学校運営への参画機能の強化などの取組を進め、組織強化につなげていければと考えおります。</p> <p>また、施策６の３０「学校を場とした地域の交流促進」につきましては、学校によってはすでに地域開放ということで、体育館やコミュニティセンターなど、学校の中に地域住民が活動している場があるかと思いますが、今後、児童数の減少により、学校の中に余裕教室などが出てくると想定される中で、そういった場を活用して地域住民が講座や交流をできないか考えていきたいと思っております。新規事業のため、具体的にどのような計画で進めていくかは、学校の児童数などの推移を見ながら検討していきたいと思っております。</p>
生田委員	<p>大体わかりました。３０番はまだこれからスケジュールを練りながらやっていくということですが、２６番の組織強化については、学校が中心となり進めていかなくってはならないのかなと思っています。取組を工夫して学校運営への参画機能を強めるために、どのようにしたら良いかが学校によって違うため、ここで書かれている組織強化というのは全市一律にはないと思いますが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>魅力ある学校づくり地域協議会の組織強化につきましては、コーディネーターの複数配置も含めまして、組織強化につながるよう、各学校や地域の実情を見ながら進め方を検討し、それぞれ対応していきたいと考えております。</p>
丸山委員長	<p>それでは他に何かございますか。</p>
坂本委員	<p>この地域教育推進計画、これは宇都宮市の「子ども子育て支援会議」と内容が重複するかなと思っています。「子ども子育て支援会議」でもこのような支援をするわけですから、十分連携をとっていただきたいなと思います。</p>
事務局	<p>坂本委員からご意見のあった事業については、２９「宮っ子ステーション事業の充実」というところが「子ども子育て支援会議」にも関わっておりまして、この事</p>

業の中の子どもの家等事業の参加人数ですとか、いわゆる学童保育の今後の利用児童数の見込みなどにつきまして、「子ども子育て支援会議」の計画にも計上しているところでございます。

金田委員

先ほどのお話ですと、国が進めていますコミュニティスクール、これは宇都宮市においては、今やっていることの方がいいよという判断でしょうか。

私の陽南中学校区では、毎年、地域住民と生徒と一緒に、様々なテーマでフォーラムをやっており、昨日開催されたのですが、子どもたちと大人が話し合っていて良い企画だなと思いました。これからはやはり、地域の中で開放された学校といえますか、地域とのコンタクトを十分にとりながらやっていくことが必要なんじゃないかなと思っていますところです。

それから、報告事項でこの地域教育推進計画（案）を提示されていますが、協議事項なのかなと思い、どのような経過で報告事項なのか、協議事項の方が良かったのではないかなと思いますので、説明をお願いします。

事務局

この計画の案件が協議事項なのではということですが、この地域教育推進計画は、社会教育の基本計画になりますので、もう1つの附属機関である社会教育委員の会議という会議体の中で、協議はさせていただいております。生涯学習センター運営審議会につきましては、18ヶ所ある各生涯学習センターの事業運営についてご意見をいただく附属機関となっておりますので、こちらの会議にもこのような形で報告させていただき、各委員から意見をいただいて反映させていただきます。

丸山委員長

それでは他に何かございますか。

竹内副委員長

1つ確認と、1つ質問ですが、このあとに各生涯学習センターの方から、来年度の生涯学習センター事業計画についてのご説明があると思うのですが、その事業計画（案）の中の重点項目の3つと、この地域教育推進計画（案）の基本目標の3つは、文言など違いますが一致するものと考えてよろしいでしょうか。

事務局

記載している文章は異なりますが、第3次地域教育推進計画（案）の基本目標の3つと、来年度の生涯学習センター事業計画（案）の重点項目の3つは、内容を関連づけて構成しております。

竹内副委員長

また、施策の全体を見ますと、生涯学習課本課、それから生涯学習センター、そのほかに図書館やスポーツ振興課など、地域教育推進計画を進めるにあたって関係課がたくさんあると思います。資料4の第5章の中に、「宇都宮市生涯学習推進本部」を設置してこれからの計画の推進を図っていくということですが、この生涯学習推進本部の中でどのような議論がされて、この計画が進んでいくかお話いただきたいです。

事務局	<p>生涯学習推進本部との関係性ですが、まず、第3次地域教育推進計画の推進につきましては、生涯学習課をはじめ、この計画に計上してある課、スポーツ振興課、文化課など、主に教育委員会の課が中心となって、この計画の進行管理をしていきます。</p> <p>生涯学習推進本部につきましては、社会教育とは別に、生涯学習という人の生涯を通した学習活動を振興していくものになりますので、教育委員会にかかわらず、宇都宮市の各部局が一体となった会議体となっており、保健福祉部や子ども部、環境部など各部が市民向けに提供している学習事業、この地域教育推進計画よりもっと広い範囲で、市民へ提供する学習に関する事業をどうしていくか議論する会議体となっております。</p> <p>その生涯学習推進本部の中でも、この社会教育の計画であるこの地域教育推進計画の実施状況は報告しており、広く学習活動の意見を議論するような場となっております。</p>
丸山委員長	<p>他に何かご意見ございますか。</p> <p>それでは、次の議事に移りたいと思います。</p> <p>議事（2）協議事項「平成30年度生涯学習センター事業計画（案）について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【資料について説明】</p>
丸山委員長	<p>ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問がありましたら、お願いします。</p>
西田委員	<p>中央生涯学習センターの重点事業で行われている「子育て広場」についてちょっとお聞きしたいのですが、継続事業ということで、およそで結構ですが、これまでのくらいの方が参加されているのか伺いたいと思います。</p>
鷲谷所長	<p>正確な数ではありませんが、およそ30組になります。参加する方は、リピーターの方や、年間の講座メニューをお知らせしておりますので、興味のあるものを選んで来る方など、様々な状況となっております。多い時ですと、50組ほど来る場合もございます。</p>
西田委員	<p>公的な施設の中でこういった講座を行うのは、子育て中のお母さんがお子さんと一緒に参加されるかと思いますが、すごく安心感があると思います。清原、豊郷、上河内でも重点事業として子育て事業を実施しており、他のところでも実施しているということですが、安心して参加できる講座として、非常に良いのではないかという感想をもちました。</p>
丸山委員長	<p>ありがとうございました。他に何かございますか。</p>

長谷川委員

各センター色々工夫なさっていて素晴らしい講座を実施していると思います。ただ1つ、私は中央の代表ですが、中央にお願いしたいことがあります。地域学を学ぶ講座を多くの生涯学習センターが実施しておりますので、中央でも地域の人たちが地域を知るといふ、地域の人たちにもう少し地域を知っていただくという講座を実施していただくと良いのではないかと思います。今も応援講座として、地区内のコミセンで実施する講座はありますが、コミセンではなく、中央生涯学習センターでもやっていただきたいなと思います。また、姿川生涯学習センターで実施している国際理解講座という講座がありますが、中央地区には外国人の方も多く住んでいらっしゃると思いますので、こういった国際理解の講座も実施していただけたらと思います。

鷺谷所長

中央生涯学習センターにつきましては、長谷川委員もご存じのとおり、所管する地区が8地区となっております。そのようなことから、8地区それぞれに個別の講座を実施するというのはなかなか難しい状況となっております。そのため、事業計画の中でご説明させていただきました「金曜まなび塾」で、地域や歴史的なものを取り上げていきたいと考えており、平成30年度につきましては、生涯学習課、文化課と連携して蒲生君平について取り上げたいと考えております。また、委員からお話いただきました「地域応援講座」を活用して進めていきたいと考えております。

国際理解の講座につきましては、国際交流プラザと連携して地域がそれぞれ取り組んでいるところもございますが、生涯学習センターではこれまで取組めていない状況がありますので、今後の状況を勘案しながら、取り組んでいきたいと考えております。

丸山委員長

他に何かございますか。

今井委員

各生涯学習センターとも特色ある取組をしているように思いますが、その中でも国本地区を見せさせていただくと、荒井退造など最近話題の講座や、「10倍楽しむ国本塾」ということで、非常に特色があり、地域と一体になって実施している感じがします。まちづくり協議会などとの連携や、あるいは地域ビジョンが作られて、その取り組みもやっていると思いますが、そういったところとのつながり、どんなことがあるのか、国本の方に少しお聞きしたいです。

吉澤所長

国本地区に関しましては、平成27年3月に地域ビジョンが完成しました。その中に、様々な地域の目標が掲げられており、私ども生涯学習センターとしましても、地域ビジョンと関連付けた事業をできるだけやろうと考えております。そういったことから、例えば、11番の国本生涯学習センターの資料を見させていただきますと、上から4つ目に、「高齢者生活安心講座」がございます。地域ビジョンの中で、高齢者の健康や安心・安全なまちづくりが課題だということから、この事業の中では、

高齢者の健康と生活課題などにつながる交通安全や、振り込め詐欺の防止などをするようにしております。そして、この講座はまちづくり協議会が共催になっていたいており、ビジョンをただ作っただけではなく、生涯学習センターと地域が連携して、こういった講座に取り組んでいるところでございます。もちろん先ほどご説明しました「10倍楽しむ国本塾」につきましても、まちづくり協議会に共催をしていただいております、様々な面で、まちづくり協議会と生涯学習センターが連携して、地域ビジョンの実現に向けた取組みの一環として、こういった講座も位置付け、実施しているところでございます。

丸山委員長

ありがとうございました。他に何かございますか。

よろしいでしょうか。それでは、「平成30年度生涯学習センター事業計画（案）」について承認することとして、よろしいでしょうか。

各委員

異議なし

丸山委員長

では、以上をもちまして、本日予定しました議事はすべて終了いたしました。委員の皆さまには、円滑な会議の進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは進行を事務局に戻します。

事務局

それでは続きまして、「4 その他」に移らせていただきます。

【委員2名の辞職及び配付物、次回の会議日程について説明】

事務局

本日は丸山委員長を始め、委員の皆様、長時間にわたるご審議誠にありがとうございました。以上をもちまして、平成29年度第3回宇都宮市生涯学習センター運営審議会を閉会いたします。